

2013年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題（テーマ）

ワークショップ「実践につながる魅力的な教材作成と評価」

■主任研究者 塚原 丘美

■共同研究者 足立 己幸, 渡部 眞, 三浦 浩子, 安達 内美子,
(研修生) 畠山 桂吾, 斎藤 静香

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】

参加者の実践現場に沿った教育効果の高い教材を作成できる能力を身に付ける。参加者がそれぞれの実践現場で抱えている課題や活用している教材を持ち寄って、“学習者と支援者の間にあって実践目的を実現するために有効な資源”のコンセプトで、教材を企画・作成し、活用・評価・公表の研修を行う。

【対象】

名古屋学芸大学卒業生を中心とした食や健康の実務者
参加応募者 10名（栄養教諭5名、病院管理栄養士5名）

【日時と内容】

一つの教材を何度も修正し、実践に繋がる魅力的なものへ創り上げ、実践の場でその教材を評価する。

- ①平成25年10月12日（土） 講師：足立己幸（健康・栄養研究所所長）
（会場：名古屋学芸大学） テーマ：教材作成の基礎“教材作成に大切なこと”
 - *事前ワークシート・課題の作成
 - *発表、特別講義、ワークシートの作成（教材の修正）、発表、批評
 - *事後ワークシートの作成
- ②平成25年11月3日（日） 講師：三浦浩子（ヒューマンケア学部特任教授）
（会場：ウインクあいち） テーマ：教材を使った学習計画“教材を活かすために”
 - *事前ワークシート・課題の作成
 - *発表、特別講義、ワークシートの作成（教材の修正）、発表、批評
 - *事後ワークシートの作成
- ③平成25年11月23日（土） 講師：瀬口雅人（メディア造形学部映像メディア学科教授）
（会場：名古屋学芸大学） テーマ：教材の視覚評価“デザイン・マスメディアの活用”
 - *事前ワークシート・課題の作成
 - *発表、特別講義、ワークシートの作成（教材の修正）、発表、批評
 - *事後ワークシートの作成
- ④平成25年12月7日（土） 発表会：完成した教材を用いて指導（プレゼンテーション）
（会場：名古屋学芸大学）
 - *栄養教諭と児童あるいは病院栄養士と患者の担当を決めてロールプレイングを実施

— 実施期間（実際に教材を使って指導し、教材を評価する。対照群と比較するなど） —

⑤平成 26 年 3 月 22 日 (土)

報告会：作成した教材を評価する (プレゼンテーション)

(会場：ウインクあいち)

【総評】

テーマにした教材は小学校の授業や給食指導で使用する媒体やワークシート、掲示物、患者への栄養指導時に使用するスライドやテキスト、病院スタッフを対象にした e-learning 教材など様々であった。いずれの教材においても、講師からの指導やグループワークの意見交換によって絞り切れていなかった対象(到達目標)を明らかにし、指導時の教材の位置づけを見直した。さらに、視覚的な修正も加え、4 回シリーズのワークショップによって確実に実践的な良い教材に創り上げることができた。約 2 か月間の実践期間では、この教材を使用して、その効果を実感した。

このワークショップの参加者は教材を作るために何を考えないといけないかを知ることができた。またそれだけでなく、対象者を分析し、教材を活かすために多方面から支援方法を考え、実施した教材の評価を行うなど、実務者として必要な多くの実践スキルの研修にもなった。